

第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要

第2期東郷町人口ビジョン

1 本町の人口動向

■人口動向

- ・総人口は、昭和45年（1970年）以降増加し続け、平成27年（2015年）は42,858人となっています。
- ・将来推計では、令和22年（2040年）に45,061人、令和42年（2060年）に41,849人となることを見込んでいます。

■人口動態

- ・自然動態、社会動態ともに増加となっています。
- ・高齢化に伴い死亡数は増加傾向であるのに対し、出生数は近年減少傾向であるため、自然増の数は減少傾向となっています。
- ・合計特殊出生率は平成26年（2014年）以降上昇していましたが、平成29年（2017年）では1.50に下がっています。
- ・転入者・転出者はともに県内での移動が多く、特に近隣市との移動が多くなっています。

2 人口を取り巻く現状のまとめ

■まち

- ・本町では令和12年（2030年）まで人口増加が続くことを見込んでいます。「セントラル開発」に伴う計画人口の流入時期にはさらに人口が増加することが予測されます。

■ひと

- ・若い世代の流入が多いため、有配偶率は高く、合計特殊出生率も最新値の平成29年（2017年）を除き、国や愛知県と比べて高い値となっています。
- ・高齢化が進行し、死亡者数が増加しているため、自然増の値が近年減少しています。

■しごと

- ・町内で従業する人の割合は男性で2割強、女性で4割弱と低く、また、昼夜間人口比率も8割弱と近隣市と比べて最も低い値となっており、ベッドタウンとしての色が強くなっています。

3 目指すべき方向と人口の将来展望

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・本町の合計特殊出生率は1.50（平成29年（2017年））ですが、アンケート調査をもとに算出した本町の若い世代の希望出生率は1.81となっています。
- ・結婚・出産に関し、若い世代の希望が実現できるように、より一層出産・子育て環境の充実を図っていく必要があります。

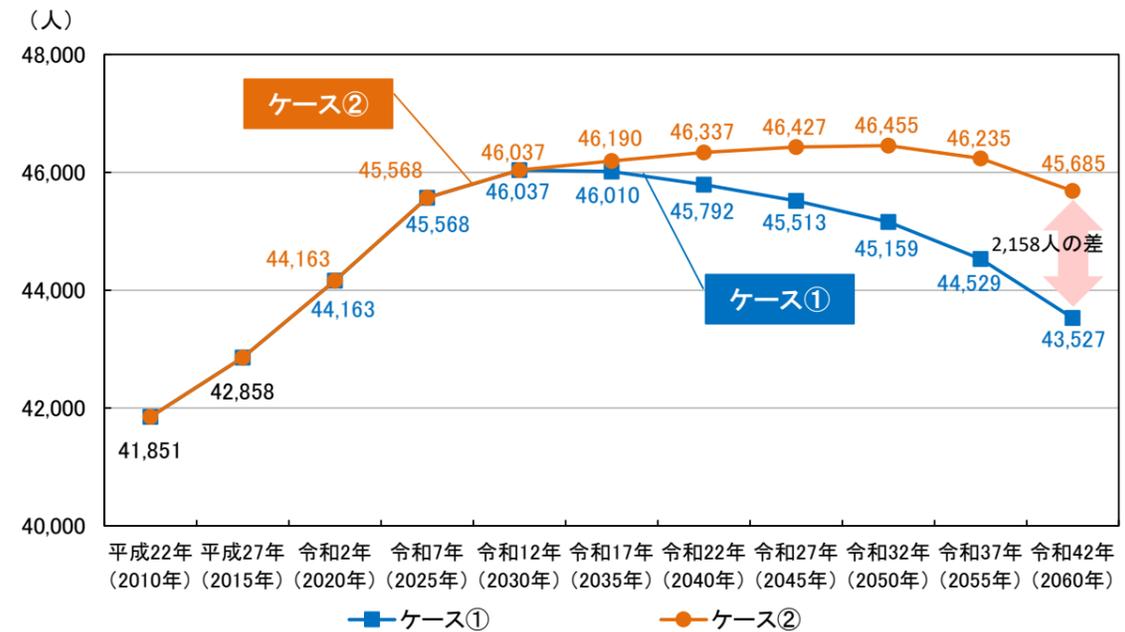
住み良いまちとして、今後も継続的に発展していく

- ・今後も継続的に本町が発展していくためには、自然環境の維持とまちの発展として必要な開発を両立していくことが重要です。
- ・現在進めている「セントラル開発」では、多様な都市機能の集積と交通の中心となるバスターミナルの整備を進めることで、集約型の都市構造への転換を目指しています。これまでの良質な住環境の魅力に合わせ、都市的な魅力も高めていきます。
- ・新たな雇用の場を創出し、引き続き若い世代に選ばれるまちとして発展していくことが必要です。

4 本町人口の長期的な見通し

前項1～3を踏まえ、出生率について異なる仮定値を設定し、2つのケースで本町独自の人口シミュレーションを行いました。

■ケース別将来人口シミュレーション（総人口）



- ・ケース①では、令和12年（2030年）の46,037人をピークにその後減少に転じ、令和42年（2060年）には43,527人になると推計されます。
- ・ケース②では、令和32年（2050年）の46,455人をピークにその後減少に転じ、令和42年（2060年）には45,685人になると推計されます。

様々な施策効果によりケース②が実現できれば、令和42年（2060年）時点においても約45,700人の人口を確保し、生産年齢人口の維持、高齢化の抑制にもつながることが見込まれます。このため、ケース②を本町が将来にわたって活力を維持していく上での人口の目安として設定します。

【シミュレーションの条件】

出生率

- ケース①：出生率が令和12年（2030年）までに1.8に上昇し、その後一定の出生率で推移
- ケース②：出生率が令和12年（2030年）までに1.8に上昇し、さらに令和22年（2040年）までに人口置換水準の2.1に上昇し、その後一定の出生率で推移

移動率

国立社会保障・人口問題研究所推計の値に準拠

移動数

セントラル開発で見込まれる計画人口を2,400人とし、開発後のビルトアップ率を踏まえた値を見込んで算出する。

第2期東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 策定に当たっての視点

(1) 3つの視点

視点1	まちの創生	町民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成
視点2	ひとの創生	地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
視点3	しごとの創生	地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

(2) 新たな視点

新たな視点1	多様な人材の活躍を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材が活躍できる環境づくり 誰もが居場所と役割を持ち活躍できるまちづくり
新たな視点2	新しい時代の流れを力にする	<ul style="list-style-type: none"> 未来技術の活用の推進 持続可能な開発目標（SDGs）の要素を総合戦略に取り込み、地方創生の推進

2 基本目標と施策

基本目標1 しごとをつくり、安心して働けるようにする

数値目標

指標	現状値	目標値
町内従業者数（東郷町内の事業所で働く人の数）	12,704人	14,700人
東郷町内で働く町民の数	6,082人	6,300人

具体的な施策

(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める	<ul style="list-style-type: none"> ① 新たな産業の誘致 ② 町内企業の拡張・育成 ③ 高校・大学との連携強化
(2) 創業支援体制を構築する	① 新たな産業を担う創業者の育成
(3) 地産地消による農業の活性化を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ① 担い手及び新規就農者の育成 ② 特産品の商品化支援 ③ 地産地消の推進
(4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ① 全世代・全員の活躍の場づくり ② 高齢者同士や子ども達との交流推進

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

指標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.50	1.8
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	50.0%	53.0%

具体的な施策

(1) 妊娠・出産を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ① 妊娠・出産の支援 ② 青少年を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実
(2) 安心して子育てができる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育て世帯の経済的負担の軽減 ② 子育て支援の充実 ③ 小中学校における教育内容や教育環境の充実 ④ 保育サービスの向上 ⑤ 子育て支援情報の発信
(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ① 女性の活躍推進 ② ワーク・ライフ・バランスの推進 ③ 男女共同参画を進める意識づくり

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標

指標	現状値	目標値
転入超過数（年間）	310人	270人
昼夜間人口比率	79.3%	84.9%

具体的な施策

(1) 魅力あるまちの中心核をつくる	① まちの中心核の形成
(2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ① シティプロモーションの推進 ② 職場体験等の受入れの推進
(3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る	① 東郷ふるさと寄付の返礼品拡充

基本目標4 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

数値目標

指標	現状値	目標値
東郷町に住みたいと考える町民の割合	81.7%	85.3%
健康寿命の延伸	男性80.90歳 女性84.55歳	延伸

具体的な施策

(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める	<ul style="list-style-type: none"> ① 巡回バスの充実と公共交通の利用促進 ② バスターミナルの整備と新たな交通網形成の推進 ③ 新たなモビリティサービスの活用
(2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む	① 地域文化の継承
(3) 地域の安全・安心を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域防災の推進 ② 企業との連携強化による防災力の向上 ③ 安全・安心なまちづくり
(4) 産官学等の連携を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ① 大学等との連携 ② 自治体間の行政連携
(5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康づくり支援 ② 運動・スポーツの習慣化支援を通じた健康づくり